赤木名城跡（あかきなじょうあと）

【所　在　地】奄美市笠利町大字里字溜池ノ又２６９番地ほか
【種　　別】国指定史跡
【指定年月日】平成２１年２月１２日

赤木名城跡航空写真（集落の左隣の山頂部）

琉球列島の奄美地域を代表する中世併行期の城郭。奄美大島の北部西岸にある笠利湾を望む丘陵上に立地し，奄美地域屈指の規模をもつ。全体の構造からみて石垣が発達した琉球より日本の影響がみられることが注目される。この時期の琉球・日本・奄美との政治・軍事を考えるうえできわめて重要な遺跡である。